

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 高速道路の休憩施設を拠点とした地域の活性化、賑わいの再生づくり

事業主体名: さぬき市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
(計画名;津田の松原サービスエリア地域活性化計画)	
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○
3)事業実施のための環境整備が図られている。	○

※計画の内容等に応じて項目を変更しても構わない

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月14日

計画の名称	高速道路の休憩施設を拠点とした地域の活性化、賑わいの再生づくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	さぬき市												
計画の目標	地域の食・文化の発信ができる場所として、集客力、物販の店舗の確保等からSAを賑わいの拠点として位置付ける。SAを有効に活用するため、SAに徒歩で行けるよう近くに駐車場を整備し、一般道から駐車場までの誘導がしやすいようにアクセス道としての道路改良や誘導看板やSAのウェルカムゲートの設置し、集客増加を目指す。SA上り下りともにアクセスしやすい環境を整えることで、賑わいの拠点として、高速道路・一般道を問わず、市に訪れる観光客等に地域の魅力を伝えることができ、そのことが観光や商業に反映されることで、市内の地域活性化にもつながること目的とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	199	A	199	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	H32	H34
1	SAの利用客数の増加 SAの利用客数の増加を調査する 対前目標時期から100人/日増とする	2700人/日	2800人/日	2900人/日
2	SAの物販の売上額の増加 SAの物販の売上額を調査する SA利用客の対前目標時期の増加率を見込む	1195百万円/年	1240百万円/年	1285百万円/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	さぬき市	直接	さぬき市	市町村道	改築	市道隠谷15号線外1線	道路拡幅等	さぬき市						199		未策定
											小計						199		
											合計						199		

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	高速道路の休憩施設を拠点とした地域の活性化、賑わいの再生づくり		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成32年度 (3年間)	交付対象	さぬき市

